

# O unico encontro na vida

## 派遣事業の報告 ～教育・文化等の交流活動を通して感じたこと～

クリチバ市、マリンガ市、パラナヴァイ市、および各教育局の支援をいただき、予定していた事業を順調に消化することができました。その総括として、交流活動を通して感じたことに所見を添える形で発表を行いました。（以下に、一部掲載）



教育局本部での報告会(28名)

■市立学校⇒州立学校への円滑な引き継ぎシステムの構築。

■算数…九九の習得率85%(小学校2年生)の価値判断。

…学力差の激しい状態にもかかわらず、一様に授業が展開している。⇒個別支援の充実

■学力=学習規律=教室・学校環境(※2016 リオ五輪サッカー日本代表サポーターの言葉を引用)

「日本人はごみをポイ捨てせず、ちゃんとした場所に捨てます。これは、私たちの習慣です。」

■子どもの成長にとって、大人が「きちんと叱ること」は大切、「上手に褒めること」は更に重要。

### 広がった児童作品交流の輪 3校→12校

児童作品を通して行う教育・文化交流（岩田小⇔ノエミア校、多米小⇔ダッシア校、岩西小⇔カイキ校）の意義については、多くの校長先生方に理解をしていただきました。

今回は、市立学校12校から児童の思いが詰まった作品を預かることができました。

ノエミア4年児童作品



## O unico encontro na vida 通信タイトルへの思い

平成28年度の交流活動を無事に終えることができそうです。これも、さまざまな側面からご支援をいただいた多くの方々のおかげであると実感しています。

◇教育関係（教育局、消防局、学校） ◇ABD（出稼ぎ協会）※平松会長は、私のセカンドネーム「マリオ」の名付け親です。 ◇通訳（坂本氏、岡田氏、谷中氏） ◇植田氏（マリンガ市国際交流協会会長）

◇彌城氏（兵庫県ブラジル事務所長） ◇児童作品を制作していただいた岩田小・多米小・岩西小 ◇小学校の一日の動画撮影にご協力いただいた向山小 ◇渡伯に向けてレクチャーをしていただいた皆様方…紙面をお借りして感謝申し上げます。

通信タイトル『O unico encontro na vida』には『一期一会』の思いを込めました。「必然の出会いに何かを求め、偶然の出会いから何か生まれる」この繰り返しの充実した70日余でした。豊橋市とパラナ州とでは、文化や慣習、社会的背景など、異なる部分が多く存在します。私たちの歩んだ足跡がパラナ州教育に生かされること、そして、パラナ州の子どもたちが着実に歩を進め、輝かしい未来を享受することを切に願い、本通信を締めたいと思います。

交流活動先の一覧 ※数字は訪問回数

種別/市	クリチバ	マリンガ	パラナヴァイ
州立学校	6		2
市立学校		3	36
私立学校		1	
州・市教育局	6		2
州教育事務所	1		1
州消防局	1		
領事館	1		
ABD(出稼ぎ協会)	2		
文化体育協会	1		

▼クリチバ市、マリンガ市、パラナヴァイ市での思い出を胸に、30時間の旅、我が豊橋市へGo!!